

学習指導案(教科:公民科)

1 授業内容

科目:倫理

単元:第2章 人間としての自覚 4 イスラーム

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標

- ・イスラームの基本的な考えを理解し、国際化への対応力を高める。
- ・イスラームの世界観・人間観と現代の日本社会の一般的な世界観・人間観とを比較し、人間のあり方について考える。

(2) 本時の目標

イスラームについての基本知識を習得し、「六信五行」について考えることで、人間にとっての宗教規範の意味を探究する。

(3) 本時の評価規準

(関心・意欲・態度)リアクションペーパーにおいてテーマについての主体的な関わりが見られるか。グループ学習に主体的・協動的に関わっているか。

(思考・判断・表現)課題回答において、「六信五行」の意味を考え、表現することができたか。

(知識・理解)グループ学習において、イスラームについての正確な知識を踏まえることができているか。

(技能)資料集を有効に利用して学習に活かしているか。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	・今回は、イスラームについて学習することを予告する。 ・授業前に、生徒のイスラーム観を確認する。	・自身のイスラーム観を確認する。 ・指名された生徒は答える。 ・それについて共感や反対があれば、発言する。	・イスラーム教徒の人数や分布などのデータ、写真を示し、授業前の生徒が自身のイスラーム観を確認できるようにする。
展開 (35分)	①イスラームについて、その歴史や教えの内容を概説する。(15分) ②「六信五行」についてグループワークを指示する。テーマは、「六信五行がなぜイスラーム教徒にとって大切なのか」(10分) ③生徒たちの回答をまとめる。(10分)	①について、 <u>ワークシートの穴埋めをしたり、メモをとったりしながら、講義を聞く。...</u> 【1】 →課題の配布機能 ・グループ学習のポイントになる「六信五行」のEX-wordよりふせんを配布する。... 【2】 →EX-wordふせんの配布機能 ・「六信五行」のうち各グループに指定されたものについて、それがなぜイスラーム教徒にとって大切なのかを話し合う。 ・ <u>回答をまとめ、代表が提出する。...</u> 【3】 →提出機能 ・ <u>代表は、クラス全員に自分たちの回答を配布する。メモをとりながら授業者のまとめを聞く。...</u> 【4】 →生徒による配布機能	評価【知識・理解】 イスラームについての、その歴史や教えの内容を理解している。 評価【関心・意欲・態度】 課題に対して関心を持ち、積極的に話し合いに参加している。 評価【思考・判断・表現】 「六信五行」の意味を考え、自分の考えを表現することができる。 ・今回は、「正解が複数ある課題」である。できる限り(明らかな知識や判断の誤りがある以外)生徒の回答を尊重し、加えるべき視点を加えてまとめる。
まとめ (5分)	課題を提示する。	「 <u>授業を受けた後のイスラーム観</u> 」とリアクションペーパーの提出について指示する。 ...【5】 →課題配布機能	他者の立場に立って異文化を理解することの大切さを強調しながら、課題を提示する。

(5) ICT活用計画

ICTを主に活用するのは、展開とまとめの【2】～【5】の場面である。

(手順)

- 1 復習の中で、今回の対話的学習の題材となる「六信五行」についての正確な知識を確認するために、EX-Wordの倫理用語集のふせんを配布する。
- 2 テキストふせんで作成した本時のワークシートを配布機能で生徒全員に配布する。
- 3 グループでワークシートに取り組みさせる。代表生徒は、指定時間内に課題提出機能を利用して提出するとともに、他の生徒全員に自分たちの回答を配布する。
- 4 グループごとの回答を共有しながら、教師が加えるべき視点を加えてまとめる。
- 5 まとめの課題を配布し、提出させる。
- 6 回答を共有し、多種多様な考えに触れさせる。

(ClassPad.netを活用する効果性について)

- 1 答えのない問いについては、様々な考え方に触れることが重要であり、提出機能を活用することで、多種多様な考え方を効率的に生徒に共有できる。
- 2 EX-wordを活用することで学びのノートブックに保存でき、何度も復習を行うことが可能になる。